

10-3 就業者1人当たり市町村内総生産及び人口1人当たり市町村民所得

(単位：千円)

年 度	就業者1人当たり市町村内総生産		人口1人当たり市町村民所得	
	久留米市	(参考) 県平均	久留米市	(参考) 県平均
平成25年度	6,464	7,494	2,634	2,675
26	6,592	7,518	2,632	2,670
27	6,663	7,715	2,698	2,755
28	6,732	7,787	2,722	2,794
29	6,640	7,874	2,765	2,870
30	6,680	7,812	2,750	2,869
令和元年度	6,647	7,721	2,738	2,856
2	6,676	7,337	2,559	2,653
3	6,882	7,626	2,638	2,772
4	7,081	7,783	2,672	2,813

資料：福岡県オープンデータサイト「福岡県 市町村民経済計算（平成23～令和4年度）（平成27年基準）」

※「1人当たり市町村民所得」とは、雇用者報酬、財産所得、企業所得を合計したものを人口（国勢調査年は国勢調査人口、それ以外の年は10月1日現在の人口推計値）で除したものである。したがって、個人の所得水準を表すものではなく、企業利潤なども含んだ市の経済全体の所得水準を表している。

※市町村民経済計算は、毎年度公表する度に過去の値も修正される。これは、市町村民経済計算の元となる県民経済計算が、一次統計の遡及修正や5年に一度の周期調査（国勢調査など）の結果を反映させて値を過去値まで修正していることなどによる。したがって、市町村民経済計算結果は、過去の値も常に最新のものを確認する必要がある。

※＜参考＞県民経済・市町村民経済計算の主要概念の整理

（福岡県オープンデータサイト「令和元（2019）年度 市町村民経済計算（名目）の概況」より抜粋）
 経済活動は、企業等の生産活動によって新たな価値、つまり付加価値が生み出され（「生産」）、その生産活動に参加した労働者（家計）への賃金や企業の利潤等として分配され（「分配」）、分配された付加価値を所得として家計が消費したり、企業等が投資を行ったりする（「支出」）という循環を繰り返しています。これら「生産」「分配」「支出」から評価した付加価値は、同一の価値の流れを異なった側面から把握したもので、概念上の調整を加えると、それぞれ等しくなります（三面等価の原則）。このように3側面から県民経済の循環と構造を計量的に把握することによって、県経済の実態を包括的に明らかにし、県の総合的な経済指標として各種施策の企画・立案等に活用することができます。また、このほかにも、国経済における本県経済の位置が明らかになるとともに、各県経済相互間の比較が可能となり国経済の地域的分析、地域の諸施策に利用されています。